

## 第1回アジア・太平洋水サミットについて

### 1. 概要

- (1)主 催：アジア・太平洋水フォーラム（会長：森喜朗元内閣総理大臣）  
第1回アジア・太平洋水サミット運営委員会
- (2)目 的：水関連政策を統括する立場にある各国政府首脳級及び国際機関代表等を含めたハイレベルが、水に関して幅広い意見交換を行い、水問題の重要性を認識し、相互に協力して取り組むことにより、世界の水問題の解決やアジア地域における国連ミレニアム開発目標などの達成を図る。
- (3)位置づけ：アジア・太平洋地域諸国における水問題の解決を目的とする非営利のネットワーク組織「アジア・太平洋水フォーラム」の重要な活動の一つとして開催される国際会議
- (4)経 緯：
  - (a)平成18年3月21日、第4回世界水フォーラムのアジア・太平洋の日において橋本龍太郎元首相より、アジア・太平洋水フォーラム設立宣言
  - (b)平成18年9月27日、マニラにてアジア・太平洋水フォーラム発足式典。「第1回アジア太平洋水サミット」の開催を決定。
- (5)開催内容
  - (a)会 期：2007年12月3日（月）4日（火）
  - (b)開催地：大分県別府市 ビーコンプラザ  
（大分県立別府コンベンションセンター / 別府市民ホール）
- (6)参加予定者及び規模  
アジア・太平洋諸国の政府首脳級及び国際機関代表等を含むハイレベル、水関係者の代表など、約200～300人程度
- (7)招待国  
アジア太平洋諸国47ヶ国（日本を含む）

### 2. 日本開催と政府協力の意義

アジア・太平洋地域を含む世界各地で水不足、水質汚濁、洪水等が深刻化しており、解決に向けてより一層の取組を推進することが必要です。

このような状況の下、我が国において、第1回アジア・太平洋水サミットが開催され、各国政府首脳級及び国際機関代表等を含めたハイレベルが、水に関して幅広い意見交換を行い、水問題の重要性を認識し、相互に協力して取り組むことは、世界の水問題の解決に加え、

- (1) アジア・太平洋地域の水情勢に関する正確な情報の発信
- (2) 水問題の解決を通じたアジア・太平洋地域との相互理解と友好親善
- (3) 国際社会における我が国への理解を一層深める機会の創出
- (4) 水問題に対する国民的関心を高め、今後の我が国の水に関する政策の推進などに大きく寄与する等の意義があります。

そのため、本サミットが所期の目的を達成するため、その円滑な実施について、政府が必要な協力を行うものです。